

# KD Kiln Dry

日本木材乾燥施設協会

## 乾燥は木材の品質チェックの最大のポイント

木材は、よく乾燥することによって、はじめて建築材料としての優れた性能を発揮することができます。住宅のクレームの多くは、乾燥の不十分な材料を扱うことによって発生しているのです。特に、最近では建築工場の拡大、建築工期の短縮、高層・高気密住宅の普及などによって、現場でのトラブルや施工後のクレームの少ない、品質の安定した材料が求められるようになってきました。なかでも乾燥は、木材の品質をチェックするとき最大のポイントになってきています。

## 乾燥材のメリット

### 1 寸法や形が変わりません。

十分に乾燥された木材は、保管や使用過程でほとんど寸法が変わったり歪んだりすることがありません。したがって、乾燥材は最終の品質管理の点からも評価されています。

### 2 クレームが少なくなります。

本乾燥材使用によるクレームとしては次のようなものがありますが、こうしたクレームを大幅に減らすことができます。

- ① 割れやすさ、曲り付けの不良
- ② クロスの割れやしわの発生
- ③ 浮腫り
- ④ タイルの目割れや割れの発生

### 3 工期の短縮が可能になります。

本乾燥材を使って建築した場合は、傷破れが少なくてから現場期間や乾燥が必要になります。乾燥材を使用すれば、工期を大幅に短縮することになり、さらに施工上のトラブルも減らすことができます。

## 木材も性能で売る時代

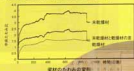
建築基準法の性能規定化、住宅性能表示制度の導入が検討されていますが、これからは性能のはっきりした材料でなければ使いにくくなってきます。木材も、外観中心から性能で売る時代に移りつつあり、乾燥はそのための最低条件といえます。

# 乾燥は 木材利用の基本

乾燥施設の導入で良質木材を！

### 4 乾燥するほど木材は強くなります。

木材は含水率が約30%以下になると、乾燥するほど次第に強くなります。図は、常に長期荷重を加えたときの本乾燥材のたわみの変化を測したものです。乾燥材のほうがおなじくたわみが小さいことがわかります。



### 5 割れやカビの発生を防ぎます。

木材の腐朽や虫害の発生を防ぐのことも高く重要な点には、常に乾いた状態を保つことが必要です。本乾燥材を使ってすぐに内装工事に入るのは避けなければなりません。

### 6 乾燥すると割れやすさ・腐食性が少なくなります。

木材は湿度に強く、木材そのものの重さと同じくらい以上の水分が蓄積していることも珍しくありません。除湿コストはかかっても、労働安全上もトラックの積載制限を守るためにも、乾燥は必要です。